

くまもと

☎ 議会だより

97号
2020.4.27



耕す

もくじ	3月定例会	2~3
	議案等の審議結果・一般質問における発言の要旨一覧	4
	一般質問	5~7
	旬の話題・編集後記	8

補正予算 2億31万4千円を可決

第2回3月定例会は、3月9日から12日までの4日間の日程で開催され、人吉球磨定住自立圏形成協定の一部変更1件、人吉球磨広域行政組合規約の一部変更1件、条例制定及び条例の一部改正10件、令和元年度一般会計及び特別会計補正予算4件、令和2年度一般会計及び特別会計の予算5件、任命同意7件を原案のとおり可決、同意しました。

一般質問では、3人が登壇し、各種施策や行政課題について執行部の考えを質しました。

初日の9日は、まず12月定例会以降の諸般の報告、例月出納検査結果報告、人吉球磨広域行政組合議会及び人吉下球磨消防組合議会の報告を行いました。

続いて、人吉球磨定住自立圏形成協定の一部変更1件、人吉球磨広域行政組合の規約の一部変更1件、条例制定及び条例の一部改正10件、令和元年度一般会計及び国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計の補正予算4件、令和2年度の一般会計及び国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、簡易水道特別会計の予算5件、農業委員会委員任命の同意7件の議案21件と同意7件を上程しました。

【一般質問】

一般質問は、10日に行われ、田代利一議員、舟戸治生議員、小川俊治議員の3名が登壇。

ふるさと納税、山村活性化対策事業、人口減少対策、人づくり・地域づくり、災害対策・通信設備利用計画、住環境の充実など多岐にわたって執行部の考えを質しました。

(詳細は5頁〜7頁に掲載)

令和元年度一般会計補正予算を審議、可決

補正予算では、11日に令和元年度の一般会計補正予算の審議を行いました。

主なものは、球泉洞コウモリ橋改修工事費に対する球磨村森林組合への補助金(熊本県からの補助金)や、国の補正予算に基づき事業が採択された神瀬地区避難所建築工事及び小学校屋内運動場照明耐震工事費で2億31万4千円を追加し、歳入歳出総額45億9,978万円となりました。

【条例制定・一部改正】

①球磨村長期継続契約を締結することができる契約を定める条例

役割が借受けて使用する自動車や事務機などの賃貸借契約や、区長業務など役務の提供を受ける業務について、複数年の長期継続契約が可能となるよう条例を制定

②球磨村コミュニティセンターたかさわ設置条例
旧高沢小学校体育館改修工事の竣工後、避難所以外にもスポーツ・文化活動や、交流の場として使用できる施設とする条例(使用料を規定)

③球磨村監査委員に関する条例の一部改正
地方自治法改正に伴う引用する条文の改正

④球磨村職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正

令和2年度から自治体における臨時・嘱託職員が廃止され、会計年度任用職員制度への移行に伴う正規職員と同様に初めて任用されたときに、公務員としてサービスの宣誓を行うこととする条例改正

⑤球磨村報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
委託料で支払うこととなる現業の山林委員報酬を削除し、地方自治法の改正に伴い監査制度の充実強化が図られ監査委員の役割と責任が大きくなることから、報酬を月額300円引き上げる条例改正

⑥デジタル手続法施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定
令和元年公布された「デジタル手続法」に関連する法律の改正に伴う「球磨村行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例」、「球磨村固定資産評価審査委員会条例」、「球磨村手数料条例」の一部改正

⑦球磨村営住宅管理条例の一部

改正

民法の改正に伴う、敷金の定義、入居者の原状回復義務、不当入居に対する損害賠償について所要の条文改正

⑧ 球磨村印鑑条例の一部改正

印鑑登録における登録資格で、国の法律改正に準じて、「成年被後見人」を「意思能力を有しない者」など所要の条文改正

⑨ 球磨村災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正

国の法律改正に準じて、災害援護金の貸付けを受けた人の状況に鑑み、償還金の猶予、免除範囲の拡大など引用する条文の番号の改正

⑩ 球磨村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

基準を示す国の内閣府令の訂正に伴う条例の改正

【人事関係】

球磨村農業委員会 委員の任命同意について

7月19日に任期満了となる農業委員会委員の任命同意で、現在7人の委員の再任を求める提案があり、全会一致で同意しました。

舟戸 勝也さん (舟戸班)

岡 忠康さん (岡班)

田代 知敏さん (田代班)

大無田満浩さん (大久保班)

内布 敬正さん (内布班)

大無田恵子さん (山口班)

永椎 沢雄さん (上原班)

一般会計補正予算審議 (抜粋)

田代利一議員：観光客誘致対策事業補助金23,938千円の詳細内容の説明。

答え：球磨村森林組合が行う球泉洞コウモリ橋（吊り橋）改修工事費に対する熊本県からの補助金（森林組合1/2：熊本県1/2）

夕方以降ライトアップする照明設備の工事も行い、熊本地震前の観光客を上回る観光客誘致となるのが熊本県補助金の条件となっている。

小川俊治議員：固定資産税の増額補正の理由。

答え：JR九州の償却資産については、2県にまたがる総務大臣配分として軽減する特例措置を受けていたが、軽減期間が終了し固定資産税が増額となった。

犬童勝則議員：棚田地域振興緊急対策事業の松谷棚田危険箇所畦畔修繕工事内容の説明。

答え：松谷棚田畦畔コンクリート修繕整備2箇所まで120mと取付け道路2箇所を整備。

東 純一議員：棚田地域振興法の地域指定の調査内容の説明。

答え：村内の水田は殆どが棚田であり、中山間直接支払い制度の9箇所を重点的に、棚田指定地域の体制づくりの調査と検証を考えている。

小川俊治議員：戸建て木造住宅耐震改修とブロック塀等耐震化支援事業の危険箇所調査の実情。

答え：令和元年度木造耐震化として住宅の建替えによる補助金活用が1件あり、その他数件の相談があったが耐震化改修に至っていない。

ブロック塀耐震化改修については、過年度に岳本公民館のブロック塀改修工事が1件あり、その他三ヶ浦で1件危険なブロック塀の取り壊しが行なわれた。（道路沿い民有地には危険箇所は多く存在する。）

再度、広報紙などで補助事業の周知・PRを行いたい。

田代利一議員：新型コロナウイルス感染症に対する村内学校の休校4日目となっているが現状の説明。

答え：上に兄弟等の無い小学3年生以下の児童を、渡・一勝地小学校で9時から15時までの時間帯で受入れている。

渡小学校アフタースクール教室 利用3名

一勝地小学校ランチルーム 利用無し

また、保育園における学童保育の利用は、渡・こがね・神瀬保育園で3～6名が利用している。

県教育委員会が今後の方針を検討中であり、県の方針に沿って対応していく。

高澤康成議員：入浴税10万円の補正理由は？

答え：湯の駅（渡）が昨年より、宿泊客を受け入れることとなったことによる増額。

3月定例会 議案等の審議結果

日程	議案番号	件名	結果
第1	議案第3号	人吉球磨定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について	原案可決
2	議案第4号	人吉球磨広域行政組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について	原案可決
3	議案第5号	球磨村長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の制定について	原案可決
4	議案第6号	球磨村コミュニティセンターたかさわ設置条例の制定について	原案可決
5	議案第7号	球磨村監査委員に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
6	議案第8号	球磨村職員の服務の宣誓に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
7	議案第9号	球磨村報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
8	議案第10号	デジタル手続法施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決
9	議案第11号	球磨村営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
10	議案第12号	球磨村印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
11	議案第13号	球磨村災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
12	議案第14号	球磨村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
13	議案第15号	令和元年度球磨村一般会計補正予算について	原案可決
14	議案第16号	令和元年度球磨村国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
15	議案第17号	令和元年度球磨村後期高齢者医療特別会計補正予算について	原案可決
16	議案第18号	令和元年度球磨村介護保険特別会計補正予算について	原案可決
17	議案第19号	令和2年度球磨村一般会計予算について	原案可決
18	議案第20号	令和2年度球磨村国民健康保険特別会計予算について	原案可決
19	議案第21号	令和2年度球磨村後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決
20	議案第22号	令和2年度球磨村介護保険特別会計予算について	原案可決
21	議案第23号	令和2年度球磨村簡易水道特別会計予算について	原案可決
22	同意第1号	球磨村農業委員会委員任命の同意について（舟戸 勝也氏）	原案同意
23	同意第2号	球磨村農業委員会委員任命の同意について（岡 忠康氏）	原案同意
24	同意第3号	球磨村農業委員会委員任命の同意について（田代 知敏氏）	原案同意
25	同意第4号	球磨村農業委員会委員任命の同意について（大無田 満浩氏）	原案同意
26	同意第5号	球磨村農業委員会委員任命の同意について（内布 敬正氏）	原案同意
27	同意第6号	球磨村農業委員会委員任命の同意について（大無田 恵子氏）	原案同意
28	同意第7号	球磨村農業委員会委員任命の同意について（永椎 沢雄氏）	原案同意

一般質問における発言の要旨一覧

質問者	質問の要旨	頁
田代利一議員	① ふるさと納税 ② 山村活性化対策事業 ③ 人口減少対策	5頁
舟戸治生議員	○村づくり ① 人づくり ② 地域づくり ③ 災害対策 ④ 通信設備利用計画	6頁
小川俊治議員	① ふるさと寄付金の現状と課題 ② 住宅、住環境の充実 ③ 移住・定住促進対策の充実	7頁

ふるさと納税について

本年度の現状は

答 申し込みは増えているが、寄付額は減少している

質問 ふるさと納税については、村としても貴重な財源でもあり、広範囲からの財源確保、地域のPR、観光のメリットがある。本年度の現状は。

柳詰村長 昨年度実績と比較し、申し込みは増えているが、寄付額は減少となっている。さらに調査、研究をして、納税額の上昇につなげたい。

質問 申し込み増と、納税額減についての理由は。

高永企画振興課長 昨年度のふるさと納税の委託業者というのが税理士法人であり、ふるさと納税に誘導していただいたところもある。

質問 本年度は大口がなかったということか。

高永企画振興課長 大口はなかったが、金額は少なくても件数が伸びるということは、選ばれる村になってきていると考える。

質問 所得の向上が必要であり、返礼品も増やさないといけないと思うが。

高永企画振興課長 いちばんの問題に、球磨村産の返礼品の数が少なかったことがあり、必要なときに出せなかったことが原因かと思う。新しい商品づくりが必要と考えている。

質問 山村活性化対策事業については、農山村地域において、単独で農地の維持管理が困難な集落が増加しており、地域資源を活用した地域づくりによる雇用の創出が求められる。事業を活用した取組は。

柳詰村長 近年、都市住民を中心に、ゆとり、安らぎの場としても山村の評価が高まっており、山村の活性化には、地域の潜在力を引き出すことが重要である。これまでに交付金を活用し、事業を実施してきた。地域の創意工夫により、就業の場確保、所得の向上、山村の活性化、自立及び維持・発展を推進している。

質問 活性化対策について、ヤマメ養殖の状況は。

高永企画振興課長 養殖も順調に進んでおり、売上げ目標に向け、経費を抑えながら付加価値をつけて販売をしたい。

質問 振興センターでの炭焼きの状況と、需要については。

高永企画振興課長 くまむら山村活性化協会に委託して、1人雇用し焼いているが、需要に供給が追いついていない状況にある。国の交付金事業があるので活用し、後継者の育成、炭窯の増設等できればと考えている。

質問 人口減少対策は避けて

通れない問題であり、若い世代が希望に沿った地方での生活、ニーズに合った仕事の創出も重要課題と思うが。

柳詰村長 人口の増減は、自然増減に大きく左右されるが、いかに、社会増減である転入者をふやし、転出者を抑制することが大きな鍵である。仕事の確保も必要不可欠であり、若者が選択し得る職業となるよう検証し、仕事の創出を図っていきたい。



田代 利一 議員



返礼品のひとつのヤマメ

アマチュア無線局の 局名簿はあるのか

答 球磨村無線クラブ定款とあわせて、
明記されている

質問 人間として魅力的で、知的にも優れている教師がいて、生徒を学校に引きつけなければならぬと思っ

ている。生徒と教師の関係についての考えは。

友尻教育長 自心の育成は、人づくりの中でとても重要なものがある。教師が配慮しなければならぬことは、まず、きちんとした生活習慣を身につけさせることだと思っ

質問 子どもたちは、魅力的で知的な人、人的環境との出会いが大事だと思っ

が、若者の多くは生まれ育った地域から出てみたいと思っ

質問 人口減となる村は、交付税額が減少すると思っ

が、少子化対策は。

高永企画振興課長 今後、社会教育、家庭教育の充実が非常に重要であると考

えているし、行政だけではなく、地域全体で支援等をとっ

質問 問題は、そこで暮らす人々が生き生きとしているか否かであると言

われているが、球磨村の高齢化対策は。



舟戸 治生 議員

せて避難していただいたようで、避難者の方々からの苦情はなかったとの報告を受けている。

質問 避難所に避難して大規模地震災害が発生した際、停電、断水、配水管の損傷、下水処理等への深刻な被害が想定されるが、その対応は。

山口総務課長 球磨村では指定緊急避難所として6ヶ所の避難所を設けているが、施設の壁や屋根などに危険性がない場合は避難所として運営を継続する。

質問 災害が発生し、全ての通信施設が途絶した場合、最寄り無線局を利用したアマチュア無線が通信手段だと思っ

柳詰村長 本村のアマチュア無線局の局名簿の有無ですが、球磨村無線クラブ定款とあわせて無線局名簿が明記されていることを確認している。

なお、多様な情報通信手段を確保する観点から、アマチュア無線団体等災害時活動等の協定及び防災訓練への参加について検討している。



渡地区多目的集会施設の外觀

質問 ふるさと寄付金について昨年制度見直しと規定が改定されたが、現状と今後の取り組みは。

柳詰村長 本年度は2月末現在での寄付件数は約700件増の、1,509件、寄付額は1,500万円減の2,740万円程度。国の規制の厳しさや自治体間の返礼品の競合がある中においても、高額な申し込みはないが件数は伸びている。さらに調査、研究をして、納税額の上昇につなげたい。

質問 寄付をされる方の内訳は95%が村外の方で、生まれ育った村内関係者は5%であるが、PR、募集の方法は。

高永企画振興課長 東京をはじめとする4つの「かわせみ会」、村のホームページ、ウェブサイト、広報誌、それとふるさとチョイス、楽天のポータルサイトを活用している。95%がインターネットを利用されている。

質問 返礼品として、梨、栗、棚田米があるが寄付される方に答えることができないこともあるようだ。球磨村の棚田米を今後さらに利用していただくための対応は。

高永企画振興課長 農産物はシーズンがあり在庫を抱えるリスクを伴うものであり、販路を確保したうえで、村内それぞれの棚田が潤うような取り組み、仕組みを構築できたらと思う。

質問 公営住宅の計画的な整備と空き家活用、空き家バンクの現状と効果的なPRの取り組みは。

柳詰村長 一勝地友尻団地は令和元年度から2棟、渡入枝団地は令和4年度から2棟を建てかえ、大規模改修の計画。空き家情報については村

のウェブサイトにおいて、本村の特徴ある施策をPRしている。

質問 今後の村有住宅の拡充の計画は。

柳詰村長 神瀬は村有の敷地がないのが、今のところの現状。一勝地の永崎団地は敷地造成とかねて進める。渡は分譲とかいろいろ話がありますが、利便性、安全性、財政面を慎重に見極めたい。

質問 村有住宅の入居募集状況は。

山口総務課長 神瀬久保鶴団地2棟は1件、渡二王子団地1棟は3件の応募状況。

質問 空き家対策で所有の田畑や山林をセットにした取り組みがされている所があるが。

高永企画振興課長 山江村が家屋と菜園をセットにした移住体験をしている。農地を持てる持てないの規制がある。農業委員会の規制の範囲内でクリアできれば検討していきたい。

質問 3世代同居できる支援の計画があるが具体的な施策は。

柳詰村長 転出や核家族化を抑制し、世代間を超えた交流ができることから支援したい。具体的には2世帯住宅の補助金など考えたことがあるが、今後しっかりと対策をとりたい。

答 地域が潤うような仕組みができたなら

ふるさと寄付金返礼品、

棚田米の活用は



小川 俊治 議員



返礼品の棚田米

卒業式

寂しい卒業式だったけど新型コロナウイルスには絶対負けない!



一勝地小学校卒業式



渡小学校卒業式



球磨中学校卒業式

お知らせ

多武議長が球磨郡議長会 会長に就任

2月14日に行われた球磨郡町村議会議長会議において、多武議長が会長に就任しました。「大役に対し、力不足の感じはありますが精一杯務めさせていただきます」とのことです。

議会傍聴にお越しく下さい。

(どなたでも傍聴できます。傍聴席 30 席)
次回は、6月定例議会(日時未定)

3月定例議会の傍聴人数は9人でした。

編集後記

新型コロナウイルス感染が地球規模で広がっています。現代社会の仕組みがガラガラと崩れていくようです。

科学の発達も、原始的な妖怪には勝てないのでしょうか。それでも、これまで人間は、何度も何度も苦しめられましたが打ち勝ってきました。

グローバル化した現在、人、物、金、そしてコロナが瞬時に駆け巡ります。一国では防ぎようがありません。今こそ手を取り合い、各国が総力を挙げ、知恵と工夫で乗り越えたいものです。

小川 俊治

議会広報特別委員会

委員長	小川 俊治
副委員長	犬童 勝則
委員	東 純一

■球磨村世帯数:1,436世帯 ■人口:3,540人 男:1,680人 女:1,860人(令和2年4月1日現在)